

報道関係者各位

2026年1月7日
株式会社ワークスアプリケーションズ

日清食品ホールディングス、「HUE Asset」を採用 新リース会計基準対応を機に、固定資産管理の基盤を次世代へ刷新

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:秦修、以下 WAP)は、日清食品ホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長・CEO:安藤 宏基、以下 日清食品HD)が、新リース会計基準対応を契機に、WAPの固定資産管理システム「HUE Asset」を採用したことをお知らせします。標準機能による高い業務適合性と法改正にも追加費用なく対応できる「無償バージョンアップ」が、食品製造業のDXをリードする日清食品HDに高く評価され、採用に至りました。これにより、安定した運用基盤のもと、制度改正にも柔軟に対応できる固定資産管理体制を構築します。



【採用の背景】新リース会計基準対応を機に、長年利用してきた大手システムを刷新

日清食品HDでは、新リース会計基準への対応を契機として、固定資産管理システムの全面的な見直しを進めました。従来システムでは、法改正対応のたびに追加費用が発生し、操作の煩雑さから入力負荷も大きいなど、運用効率とコストの両面で課題がありました。こうした課題を踏まえ、法改正や制度変更にもスムーズに対応でき、長期的に安定運用が可能なシステムの検討を開始しました。その中でHUE Assetは、複雑な業務要件を標準機能で再現できる柔軟性と、操作性・保守性の高さが評価され、採用に至りました。

【期待される効果】アドオンゼロでの業務再現により、効率化と保守性を両立

HUE Assetの標準機能を活用することで、現行業務をアドオン開発なしで再現し、法改正時の追加コスト削減や運用負荷の軽減を実現します。さらに今後は、固定資産・リース契約情報の一元管理に加え、スマートデバイスからのデータ入力・確認機能の導入も予定。棚卸作業の効率化や入力精度の向上など、現場業務のさらなる改善が期待されています。

<日清食品ホールディングス株式会社 財務経理部 ご担当者様からのコメント>

新リース会計基準対応にあたり、固定資産管理システムの刷新を検討する中で、HUE Assetに搭載された標準機能の柔軟性や操作性に魅力を感じ、固定資産・リース業務の効率化が期待できました。また、新リース会計基準をはじめとした今後の法改正に安定的かつ確実な対応が期待できる点や、固定資産の現物管理を実地調査から変更申請までワンストップで実施できる点が採用の大きな決め手となりました。今後はHUE Assetを活用し、財務経理部のみならず現場を巻き込んで固定資産管理業務のさらなる効率化と安定した運用を目指してまいります。

【HUEについて】

HUEは、日本の大手企業向けに開発された国産ERPで、お客様の声で成長し続けることで、業種や業態を問わず幅広い業務要件に対応しています。6,700以上の標準機能を備え、RFPに対するフィット率は97%*を誇ります。2,200社以上で導入された実績が、その信頼性と高い評価を支えています。

*フィット率97%は当社基準によります

HUE製品ページは[こちら](#)

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当